

香川県・小豆圏域

1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
小豆圏域の社会資源マップを作成	圏域内の社会資源を整理するために社会資源マップを作成。現在までに7回のWGを実施。3障害に対応した、支援者向けのマップとなる。マップ作成依頼先に、WG担当者が足を運び作成を依頼した。介護施設を含めた58施設にマップの作成を依頼し、現在回収中。
住民や支援者へ精神障害についての普及啓発を行い、理解者を増やす。	地域の3つのイベントに参加。ステージイベント参加、ブースを設けて啓発活動、パネル展示等を実施。地域住民に関心を持ってもらうためにストレスに焦点を当て、『心の健康ささえ隊』として活動。クイズラリーやストレスチェックを行い、またチラシを作成し配布した。

2. 支援事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発WG：住民からの反応も良く、来年も取り組んでほしいという意見もあった。地域のイベントに参加したことで、より多くの住民に啓発できた。 社会資源WG：今年度マップ完成予定。介護施設や介護タクシー、補装具等の施設にも依頼し、現在の活動内容等を説明。協議会の活動を知ってもらい、関係構築のきっかけとなった。 病院面接実施。病院面接では、昨年度実施した患者、新規対象者を含め計26名に面接を行った。 ピアサポーター養成講座実施。4名の受講者のうち、1名登録。また、昨年度小豆圏域での登録者に体験談発表を行ってもらった。

3. 次年度に向けた課題等

<ul style="list-style-type: none"> 社会資源WG：小豆圏域の状況から、新規の資源をつくることは難しい。そのため、既存の社会資源をどのように活用していくかの検討が必要。 普及啓発WG：普及啓発の継続は必要。今年度は心の病としての啓発がメインだったが、今後は精神疾患としての啓発も必要。また、ピアサポーターを活用し、啓発活動を活性化させていく必要がある。 個別支援：病院面接後の支援の流れができていない。
--

4. 課題の解決に向けた 令和2年度取組方針

<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発WG：今年度参加したイベントをさらに活性化させ、ピアサポーターも一緒に活動していく。日頃の支援から啓発活動できるようにチラシを活用する。 社会資源WG：マップの更新について定める。既存の社会資源のさらなる活用について、自立支援協議会と連携しながら検討する。 個別支援：今年度の面接結果をもとに、今年度Aランクとされた6名の方への支援を開始。個別の支援ではなく、グループとして地域の現状や退院後の生活をイメージできるように情報提供を行っていく予定。
